

オーガー
引抜き試験成績書

試験試料 DWA-435



2020年 6月 8日

企画部

1. 試験目的

試料の引抜き荷重に対する抵抗特性を母材厚み4水準に基づき確認する。

2. 試験日および試験場所

2009年3月22日

滋賀県野洲市六条 1018-1 日本パワーファスニング(株) 滋賀事業所 実験室

3. 試験項目

静的引抜き試験

4. 試験母材および試料

(1)母材:せっこうボード

厚み①9.5mm ②12.5mm ③15mm ④9.5mmの二枚重ねの4水準

(2)試料:

①オーガーDWA-435



図1 EZ-1

②タッピンねじ4.0x35(DWA-435に組み込み)

5. 試験機器

5-1. テクノテスターRT2000LD (サンコーテクノ株式会社製)

5-2. 試験結果記録 テクノテスターグラフ (サンコーテクノ株式会社製)

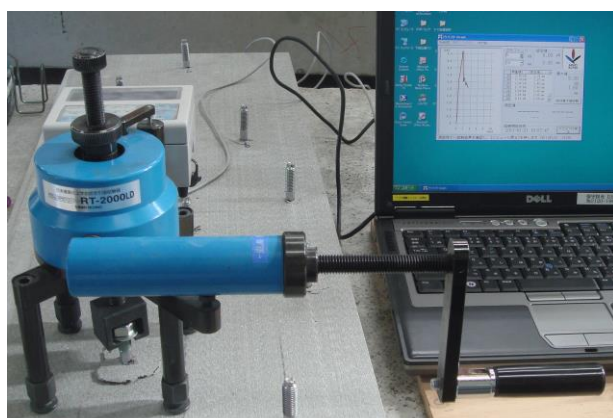


図2 試験体および試験装置、施工器具一式

6. 試験結果

①破壊最大荷重

表1 引抜試験結果(最大荷重:kN)

母材水準	9.5t	12.5t	15t	12.5t+12.5t
1	0.34	0.39	0.58	0.71
2	0.27	0.47	0.59	0.48
3	0.25	0.45	0.54	0.68
4	0.25	0.5	0.6	0.65
5	0.28	0.51	0.5	0.62
6	0.27	0.52	0.57	0.68
7	0.3	0.46	0.62	0.65
8	0.25	0.43	0.52	0.74
9	0.23	0.5	0.54	0.67
10	0.25	0.55	0.62	0.56
平均	0.269	0.478	0.568	0.644
最小値	0.23	0.39	0.5	0.48
標準偏差	0.03	0.05	0.04	0.08
変動係数	11.8%	9.9%	7.3%	11.7%

②破壊形態

全試料ともに「アンカーの抜け出し」



図3 破壊形態例

③特記

せっこうボードの外皮である「ボード用原紙」の破断に要する荷重が最大荷重に占める割合も無視できない様子であった。このボード用原紙の破れ方がバラつきの大きな要因の一つであると考えられる。

【本書使用上の注意事項】

本書に記載のデータは全て実験値であり、保証値ではありません。

試験担当者

日本パワーファスニング(株) マーケティング部 長谷部 以下余白